

図書館通信 —49—

1979. 12

延長開館（本館）の実施にあたって

附属図書館長 豊川卓薊

〔1〕 去る11月5日（月）から、別記の内容の夜間および土曜日午後の延長開館を実施することになりました。大学図書館（College and Research Library）にとって、開館時間の延長は、学部・大学院・教養部・短大の学生・教職員、さらには地域住民に対する学習・教養・研究のためのサービス機関としての第1次的・不可欠の任務であることはいまでもありません。本学でも、長い間図書館と学生・教職員間の最重要課題としてたえず論議されてきました。このことは、例えば1970年の『図書館通信』発刊以来今日までくり返しテーマに取り上げられていることでも判ります。歴代館長が、また図書館職員が、そのたびに「人と金」不足を理由にあげています。

〔2〕 戦後日本の国立大学の附属図書館がごく一部の特権的な大学で延長開館を実施してきただけであるという異常な事態の進行の中で、国立大学図書館協議会、国立大学協会、日本学術会議、日教組大学部、日本科学者会議などが、全国立大学の学生、教職員の延長開館への強い要求をふまえた多年のねばりつよい活動をうけて、昨年度から文部省図書館情報課が、パート職員などの形での延長開館への経費負担と管理上の制約の解決にふみ切って、ようやく実現の道が開かれることになりました。この点こそ、延長開館の実現がきわめて制限された形でしか行いえない問題を抱えて

いる原因でもあります。

〔3〕 今回の延長開館が、専門職員による延長時間が1時間で、そのあとは学生アルバイトに頼らざるをえず、そのためサービス内容の低下、日曜・祝日などの開館の不可能、レファレンス・サービスの不可能などきわめて不十分な形をよぎなくされています。外国の大学図書館のように、真夜中まで開いているのが当たり前と思えますし、サービス内容についても、少なくとも昼間と同じサービスをつづけるべきですし、日曜・祝日の開館もすべきものと思えます。コピー・サービスについても問題があります。

〔4〕 こうした不十分な形の延長開館にもかかわらず、学生・教職員の学習・教養・研究のために、一日も早くふみ切ることが附属図書館として、一定の前進になることを確信して、ふみ切った次第です。

〔5〕 今後より充実した延長開館をかちとるためには、学生・教職員の皆さんの積極的利用以外に道はありません。なぜなら、夜間（および土曜午後）、多くの学生・教職員の皆さんの利用が、図書館のサービスの不十分さを量的にも質的にも露呈したとき、はじめて私たち図書館の要求や主張が生きてくるものと考えているからです。

（1979・11・19）

開館時間の延長のお知らせ

月—金：17：00—20：45（ただし、月—金：18時以降、土：14時以降は、）
土：12：00—16：45（書庫の本は利用できません。）

* 春期、夏期、冬期の各休暇中は、今までどおり、17時（土曜12時）までです。

自然科学系外国雑誌の集中＝共同利用化の 方針について

附属図書館

静大附属図書館の管理方式として、従来いわゆる集中管理方式を採用して今日に至っていることは、周知のとおりです。東部にある本館と西部にある分館をそれぞれ地区の拠点として、図書 of 集中方式を原則としてかかぎてきています。各部署ごとの資料室、図書室または各研究室への貸出を併用しながら、過渡的な集中管理方式として、実際上の運用の便宜をはかってきています。

しかしながら、雑誌については、本館又は分館で受入れたものを従来学生用と寄贈のものを除いて、原則として各研究室・資料室・図書室など個々の研究者の便宜にまかせて配置し図書のような原則的な集中＝共同利用の形をとってきておりません。そのため、雑誌の重複購入などの調整がむずかしく、部局間および教室間および研究者・学生間の相互利用・共同利用の形が円滑に行にくい面もあり、県内唯一の総合大学としてのその研究・教育体制上の有機的な連繋や学際的な研究条件の有利さを生かしえないでいることは明らかです。また近い将来予想される学術情報システムの進展を考えますと、附属図書館の情報センターとしての役割の決定的重要性は火を見るより明らかです。

雑誌、とくに自然科学系外国雑誌の重要性にもかかわらず、インフレによる価格騰貴と研究分野の拡大および学際的な研究の進展による新しい雑誌の刊行の増加などの状況を、研究費の貧しさと併せ考えるとき、とくに問題の深刻さを感じざるをえません。

たまたま、去る9月文部省図書館情報課からの自然科学系外国雑誌の購入費の削減問題が起こったことを契機に、この問題について図書館委員会として、当面の購入費の復活ならびに来年以降増額希望の方針をきめ、併せて上記のような諸問題を含んだ雑誌の集中＝共同化の推進ならびに重複雑誌のロス排除を検討してきました。

問題の重要性と研究・教育体制への影響を考え、慎重に進めなければならないと同時に、思い切った対策を考えなければならないと思われま

す。現在、附属図書館および東部図書館委員会として、将来の人文・社会科学系雑誌をも展望しながら、当面自然科学系外国雑誌の集中＝共同利用の形をおし進めるに当って、それに対応したサービスの形態を考えております。すなわち、(1)3階のフロアを雑誌フロアとして使用、(2)雑誌棚の排列

を検討し、机・椅子・電話・コピー機など必要な設備の配置、(3)バック・ナンバーの配架の少なくとも同一階での確保、(4)新刊雑誌のコンテンツ(内容目次)・シートサービスの実施を考えているほか、大前提として必要な延長開館はすでに月～金曜午後8時45分、土曜午後4時45分まで実施しております。(3階フロアについてはとりあえず、月～金曜は午後6時、土曜は午後2時までを予定しております)

なお自然科学系外国雑誌購入費による購入にあたっては、当然集中＝共同利用化の程度に応じて割り振る原則を、図書館委員会としてきめております。

自然科学系外国雑誌の円滑な集中＝共同利用化の実現が、合理的な研究・教育体制をおしすすめ、いっそう有効な研究費の利用を高めることによって、総合大学としての静大の発展に寄与し、研究者、学生(とくに院生など)の自由で豊富な外国雑誌の利用を急速に高めることを期待し、全学の皆さんの積極的な協力を切望する次第です。

図書館委員会報告

昭和54年度第3回 S 54. 7. 13

- (1) 「図書館委員会基本問題検討事項」に基いて、今後の運営に関し、各委員の意見交換をした。この中で1. 図書館予算の具体的な問題、2. 本学図書館の将来構想の問題等を「基本問題」として、次回において審議することとした。
- (2) 浜松分館長選考規則の中、選挙有資格者に助手及び大学院電子科学研究科の専任教官を加えること及び分館長の再任に制限を設ける(4年間)ことの改正について承認した。

昭和54年度第4回 S 54. 9. 21

- (1) 昭和54年度の自然科学系外国雑誌購入費が本省から示達されなかったことに伴い、今後の対応について、その復活を図るためには重複雑誌の調整をしながら、本館及び分館にできるだけ集中をして、共同利用を図る体制がとれるかどうか、又そうした場合の図書館のサービスの問題点等について、東西別に検討することとした。
- (2) 前回に引き続き「基本問題」について、図書館の運営のあり方とそれに伴う経費総額及びその負担の方法に関し検討をした。
- (3) 「今後の学術情報システムの在り方(中間報告)について」に対する図書館としての意見を提出した旨の報告があった。

昭和54年度第5回 S 54. 10. 12

- (1) 本館の延長開館について、本学の学生アルバイトを採用して実施することで承認された。
- (2) 自然科学系外国雑誌の集中化の問題について東部地区の各部署及び西部地区の意向について報告があり、本省の昨年度の交付額の復活につながる集中化利用の方向で東西別に検討することとした。

昭和53年度外国図書大型コレクション購入の紹介（全国共同利用図書）

文部省によって昭和52年度から推進されている雑誌の自然科学系における専門領域別の拠点図書館方式とは別に、人文・社会科学系については、雑誌もさることながら、外国図書等の原典が研究資料として重要な意味を持つとの考えから、外国図書の大型コレクション購入の措置が昭和53年度から講じられている。

下記のリストは全国国立大学図書館から、希望のあったものの中から53年度分として決定したものの内、これまで当館に資料の利用案内通知が寄せられたものである。所蔵場所は全国各地に渡るが図書館間の文献複写、相互貸借などを通じての共同利用を目的としているので、この紙面をかりて学内の皆様にお知らせする次第である。

なお、静岡大学に関しては、本年度 League of Nations.(国際連盟関係コレクション 855万円相当)が採択されることになった。

- 1) United States Congressional Hearings, 1839-1969. (マイクロフィッシュ)
(米国議会公聴会記録 1839年—1969年) 一神戸大学・経済経営研究所—
- 2) 19th Century Russian and Soviet Studies; 6 important rate materials in complete.
(19世紀ロシア・ソビエト研究) 一福島大学—
- 3) Библиография Японии; литература о Японии, изданная в Советском Союзе, в России, с 1734 по 1917г. (マイクロフィルム)
(ロシア・ソ連で出版された日本関係文献) 一神戸大学—
- 4) Statistik des Deutschen Reichs, 1873-1925.
(ドイツ帝国統計書) 一埼玉大学・岡山大学—
- 5) *Irish University Press Series of British Parliamentary Papers, 1801-1899. Blue Books in 1000 Vols.
(19世紀英国議会報告書シリーズ: ブルーブックス) 一熊本大学・京都大学—
- 6) *Collection de la Jurisprudence de la Legislation de France.
(フランス法律・判例コレクション) 一金沢大学—
- 7) U. K. Official Reports on Education. (ゼロックス版)
(英国教育史研究資料) 一福岡教育大学—
- 8) Columbia University. Teacher's College. Contributions to Education, no. 1-974, 1905-1951.
(コロンビア大学教育学研究叢書) 一愛知教育大学—
- 9) Doctoral Dissertations on Musicology.
(音楽学学位論文集) 一東京芸術大学—
- 10) Annual Reports of Every Company listed on the American and New York Stock Exchanges, 1945-1976.
(アメリカ及びニューヨーク証券取引所上場会社年次営業報告書) 一香川大学—
- 11) *中国方志叢書(第一期、第二期) 一大阪大学—
- 12) Diplomatic Papers of Japanese Government. (マイクロフィルム)
(アメリカ政府所蔵日本国政府外交文書—外務省・内務省・法務省—) 一大阪大学—
- 13) Archivio storico italiano. (イタリア誌史) 一京都大学—
- 14) Verhandlungen des Deutschen Reichstages. (ドイツ帝国議会議事録) 一京都大学—
- 15) The French National Assmblee, des 1789-1813.
(フランス国会議事録) 一京都大学—
- 16) Государственная Дума, 1906-1917. (マイクロフィッシュ)
(ロシア帝国議会議事録) 一京都大学—
- 17) The National Central Library's Collection of Rare Chinese Classics.
(台湾国立中央図書館善本漢籍) 一京都大学—

※ なお、詳しい目録は参考調査係に備え付けてあります。*印は本館に一部所蔵しているものです。

■教官著作寄贈図書

- 池田隆正 (教育学部)
「道徳を問う—道徳教育の根本問題—」池田隆正編著 北樹出版 1979 (371.6/ I 32 開架)
- 真田孝昭 (人文学部)
「C I R S 東京会議紀要」真田孝昭等執筆 CIRS 東京会議組織委員会 1979 (161.3/Ko51)
「同上 英文版」(161.3/ I 57)
- 松田楨二 (人文学部)、山下季智 (教養部)
「思想史の巨人たち—名著27選—」松田楨二、山下季智等著 北樹出版 1979 (130.2/ A 62 開架)
- 坂本重雄 (人文学部)
「現代労働法 (2) 個別的労働関係」坂本重雄等著 有斐閣 1979 (S366.1/Ta65)
- 植松 茂 (名誉教授)
「植松有信」植松茂著 愛知県郷土資料刊行会 1979 (121.27/U 41u)
- 近田文弘 (理学部)
「南アルプスの森林植生」近田文弘編 静岡大学理学部生物学教室 1979 (652.72/ Ko 78)
- 中沢正寿 (名誉教授)
「学校教育の心理学—心理学的教育論説集—」中沢正寿著 静岡教育出版社 1979 (371.4/N 46 開架)
- 田村貞雄 (教養部)
「殖産興業」田村貞雄著 教育社 1977 (332.322.1/Ta 82 開架)
- 丹治一義 (教育学部)
「くらしの中の化学」「暮らしの中の化学展」実行委員会編 丹治一義等執筆 日本化学会 1978 (430.4/ Ku 55)
- 柴田幸一 (教育学部)
「知能と教育」知能教育学会附属知能教育研究所編 柴田幸一等執筆 知能教育学会知能教育中央本部 1977 (371.4/ C 47)
- 杉山忠平、杉田泰一 (教育学部)
「宗教社会学」ヴェアナ・スターク著 杉山忠平、杉田泰一訳 未来社 1979 (161.3/ St 2)
- 小和田哲男 (教育学部)
「図録中世文書の基礎知識」小和田哲男編 柏書房 1979 (210.4/ D 93)
- 上野実朗 (名誉教授)
「花粉百話—楽しい入門書—」上野実朗編 風間書房 1979 (471.3/ U 45)

- 美尾浩子 (教養部非常勤)
「男無用の子育て」美尾浩子著 文和書房 1979 (049.1/ Mi 48)
- 桐生司一郎 (農学部)
「地域農業の進路」桐生司一郎編著 明文書房 1979 (611.1/ Ki 54 開架)
- 浜田 明 (人文学部)
「ロブ=グリエの小説美学—「ル・ヴォワユール」を中心に—」浜田明著 牧神社 1978 (953/R51h 開架)

■■■■■■■■■■ お知らせ (本館) ■■■■■■■■■■

(1) 冬期休暇中の長期貸出について

貸出冊数：4冊まで
貸出開始日：12月10日(月)
返却期限：1月14日(月)

(2) 休館

12月26日(水)～1月4日(金)
なお、冬期休暇中の12月21日(金)から1月10日(木)までは、延長開館を行いません。

■人事異動 (本館)

- 転任 (54. 2. 1付)
岩本 攻 整理係→北海道大学附属図書館整理課
- 配置換 (54. 4. 1付)
平 常明 受入係→法経短期大学部総務係
- 採用 (54. 5. 1付)
萩原由紀子 整理係
- 退任 (54. 6. 30付)
渡辺安夫 館長 (教養部教授)
- 新任 (54. 7. 1付)
豊川卓爾 館長 (人文学部教授)
- 転任 (54. 10. 1付)
袴田次雄 参考調査係長→筑波大学附属図書館運用課視聴覚資料係長
- 昇任 (54. 10. 1付)
長南千恵子 整理係→参考調査係長

